

## 幅広く健康情報を提供

### 平成30年度公衆衛生活動対策専門委員会

■ 日 時 平成31年1月17日（木） 午後1時40分～午後2時30分

■ 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町  
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町  
鳥取県西部医師会館 米子市久米町

■ 出席者 14人

〈鳥取県健康会館〉

渡辺会長、岡田委員長、池口・瀬川・福永各委員

オブザーバー：県健康政策課がん・生活習慣病対策室 山本課長補佐

健対協事務局：谷口事務局長、岩垣課長、神戸係長

〈鳥取県中部医師会館〉若林委員

〈鳥取県西部医師会館〉黒沢・辻田・能勢・吹野各委員

#### 挨拶（要旨）

〈渡辺会長〉

昨年から健康対策協議会の会長に就任した。どうぞよろしく願います。

本委員会は、幅広い疾病の一次予防に関連した健康情報を住民に提供すること、疾病予防についての様々な啓発を含めた取り組みを主眼としている。県医師会、3地区医師会と連携しながら取り組んでいる。また、鳥取大学医学部の黒沢先生、尾崎先生、前学長の能勢先生にも大変お世話になっている。行政側においても、福祉保健部健康政策課並びに衛生環境研究所からも委員として参加して頂いている。

昨年度までは、委員長は私が務めていたが、今年度より県医師会常任理事の岡田先生に委員長を代わって頂いた。県医師会の活動と密接に関連した重要な委員会と思っている。

本日は、平成29年度事業報告、平成30年度中間報告、それを踏まえて、平成31年度事業計画に向

けて、委員の皆さまのご意見を願います。

〈岡田委員長〉

今年度から委員長に就任しました鳥取県医師会常任理事の岡田です。よろしく願います。渡辺会長のご挨拶でもありましたが、幅広い活動を網羅している委員会ですので、皆様のご助言を頂きながら、議論を願います。

#### 報 告

#### 1. 平成29年度事業報告及び平成30年度事業中間報告

##### （1）健康教育事業

平成29年度事業報告については、渡辺会長より報告、平成30年度事業中間報告は岡田委員長より説明。

①日本海新聞健康コラム「保健の窓」を平成29年度は24回、平成30年度は1月現在で17回掲載した。

公開健康講座の講演内容について掲載してい

る。

- ②日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を平成29年度は27回、平成30年度は1月現在で22回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受付、それに対する回答を掲載している。

- ③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座実施。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年12回で、平成29年度は鳥取県医師会公開健康講座のうち7回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても9回、同様のセミナーを実施。

平成30年度は鳥取県医師会公開健康講座10回開催予定（8月の第3木曜日は盆休みのため開催しなかった。また、3月は祭日休みのため、開催しない予定）。

「生活習慣病対策セミナー」については年16回とし、鳥取県医師会公開健康講座7回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても3回ずつ同様のセミナーを実施する予定である。

## (2) 地域保健対策：岡田委員長より報告

平成27年度より、鳥取大学医学部消化器内科松本和也先生を中心にして「鳥取県における膵癌診療の実態調査」を行っている。

2010年以降、鳥取大学消化器内科胆膵グループは、病学的エビデンスを取得し膵癌診療に臨む重要性を県内外に啓発してきたが、第三回膵癌実態調査として、2015年～2017年度における鳥取県の膵癌患者に対して、同様の検討を行うことを目的に、第二回と同じ鳥取県内11施設の各代表者と2018年6月14日に協議し承認を得た。しかし、臨床研究法の制定以後、臨床研究に際して必要な手続きが増えた事、鳥取県では医師不足は未だ解消されておらず、各施設の医師への負担は収集するデータの質の低下につながる恐れがあるとの提案があり、第三回膵癌実態調査を実施する前に、こ

れまでに実施した検討の予後調査を行い、本検討を継続することで、最終目標である膵癌患者の予後改善に寄与しているかを確認する必要があると結論し、平成30年度事業は第二回膵癌実態調査の検討内容における、予後についての追跡調査を行うこととした。研究代表施設である鳥取大学医学部附属病院では倫理審査の承認を受けた。平成31年1月6日に臨床研究計画書を研究協力施設全体に送付し、研究協力施設における倫理審査が必要な場合はこれを待ち、不要な場合には鳥取大学医学部附属病院での倫理審査をもって、順次追跡調査を行うこととした。2019年2月までにデータ集積を行う予定とする。

平成31年度事業計画としては第一回調査症例の予後を確認し、第二回調査の予後との比較を行う予定である。平成31年1月10日現在プロトコル作成中である。今後は、改定プロトコルを研究協力施設全体に送付、6月に会議を開催後、鳥取大学倫理委員会の承認取得後、2020年3月を締切りとしてデータ集積、2020年6月に報告会を開催する予定である。

## (3) 生活習慣病対策事業

### ①地区における健康教育

〈東部医師会（福永委員）〉

1. 東部消防局を会場にして救急医療講習会を平成29年9月9日と平成30年9月8日に開催した。
2. 鳥取市民健康ひろばにて、平成29年11月23日と平成30年11月23日に鳥取市立病院医師による健康相談を行った。
3. 東部医師会健康スポーツ講演会を平成29年6月29日と平成30年1月18日に開催した。平成30年度は、平成30年6月29日と平成31年2月7日開催予定である。

学校、スポーツ指導者関係者が多数参加しており、毎回、好評である。

4. 各会員による健康教育講演は、平成29年度は95回、平成30年度は12月末で41回行った。

〈中部医師会（森尾委員に代わって、岡田委員長より報告）〉

1. 「住民健康フォーラム」を平成29年度は7月2日に「健やかな老いを求めて一寝たきりにならないために―」をテーマに開催し、参加者は64名であった。

また、平成30年度は7月8日に「認知症はこわくない」をテーマに開催し、参加者は60名であった。

2. 各会員による健康教育講演は、平成29年度は69回行い、平成30年度は49回計画している。  
がん予防の話や、学校での禁煙防止教育を中心に行っている。

〈西部医師会（吹野委員）〉

1. 健康教育講座を平成29年度は米子市内の公民館で15回、境港市で14回行った。平成30年度は12月現在で米子市内の公民館で23回、境港市で11回行った。
2. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで「一般公開健康講座」を行っており、平成29年度は12回、平成30年度は12月現在で10回開催されている。毎回、100人以上参加されている。
3. 各会員による健康教育講演は、平成29年度は41回、平成30年度は集計中である。
4. 中海テレビで医師の出演による「健康プラザ（5分番組）」が放送されている。

各地区の医師会員が地域、学校において住民のために、それぞれの希望に沿ったテーマで健康教育活動を献身的に多く行っている。

## ②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

平成29年度は46件、平成30年度は1月現在で46件の相談があった。

以上の報告から、以下の話があった。

- ・特に、平成30年12月に開催された西部医師会一般公開健康講座「腎臓について」は、参加者が185名と多かった。
- ・辻田委員からは、鳥取県医師会公開健康講座を担当しているが、今後取り組んだ方がいいテーマがあったら意見をお願いしたいという話があった。

## 協 議

### 1. 平成31年度事業計画（案）：

岡田委員長より説明。

#### （1）健康教育事業

- ①日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間24回掲載続行予定。
- ②日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回～3回）に掲載続行予定。
- ③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

#### （2）地域保健対策

「鳥取県における膀胱診療の実態調査」継続実施。

#### （3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。

以下のご意見があった。

- ・膀胱実態調査については、がん登録の罹患数と一致するか調べておくようにというお話があり、岡田委員長の方で確認していただくこととなった。
- ・鳥取県医師会公開健康講座の参加者が多くなっているため、回数を増やすということも今後検討してほしい。また、科学的、生活環境において起こる健康被害をテーマにした講演もニーズがあると思うので、衛生環境研究所にお願いし

て講演してもらってはどうかという話もあった。若林委員からは、要望があれば対応は可能であるということであった。

- ・産業保健においても、生活習慣病を中心とした講演をしているが、公開健康講座と連携できないかという話があったが、公開健康講座は第3木曜日の午後2時から行っており、勤労者が参加しづらい時間帯である。

- ・病院が行う市民健康講座との連携は行われていないのかという質問については、池口委員からは、「鳥取県立中央病院では年2～3回、市民健康講座を行っている。他の病院においても、同様に行われていると思う。病院独自のテーマで決めているところもある。」、岡田委員長からは、「共催できるようなテーマがあれば、今後、検討していきたい。」、ということであった。

## 健 対 協

### 心臓検診従事者講習会

- 日 時 平成31年1月20日（日） 午後1時15分～午後2時15分
  - 場 所 倉吉体育文化会館「中研修室」
  - 出席者 27名（医師22名、養護教諭等5名）
- 鳥取県医師会指定学校医制度認定単位：5単位

## 報 告

若年者心臓検診対策専門委員会委員長 坂本雅彦先生の挨拶の後、引き続き坂本雅彦先生の座長により、国立病院機構鹿兒島医療センター小児科吉永正夫先生による「学校心臓検診—最新知見と

精度をたかめるためのKey Points—」の講演があった。

昨年度の鳥取県の検診結果を踏まえて遺伝性不整脈の診断、注意すべき特発性心筋症などに言及され、今後の検診の精度を高めるためのシステムの再構築の必要性もお話いただいた。